

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	ITエンジニアのキャリアアップを支援するIT基盤力養成プログラムの開発・実施		
法人名	学校法人コンピュータ総合学園		
学校名	神戸電子専門学校		
代表者	理事長 福岡 富雄	担当者 連絡先	油谷 元洋 078-242-0014

1. 事業の概要

企業において、業務の中核を担うミドルレベルのITエンジニアの不足が指摘されている現状で、本事業ではエントリレベルの若年ITエンジニアの継続的なキャリアアップ支援を目的とする教育プログラムの開発と実施を行った。そこでは若手エンジニアのスキルアップ・キャリアアップの共通的な基盤となる「IT基盤力」の養成・強化と「成長意欲の喚起」に重点を置いた実践的な内容とした。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本事業では、ITエンジニアが長く活躍していく上での共通基盤となる普遍的な力を「IT基盤力」として捉え、「IT基盤力」の養成・強化を目的とした「IT基盤力養成講座」と「講演セミナー」から構成される教育プログラムの開発を行った。

「IT基盤力養成講座」はITエンジニアの職種や専門分野の違いに係わらず共通的に求められる基盤力強化を目的としたトレーニングであるが、「IT基盤力」は非常に広範な能力を含むため、本事業では、その中でも特に重要性が高い問題解決能力の強化・向上を目的とした。

「講演セミナー」では、IT企業の経営トップの講演を通じて、IT業界の最新動向や技術トレンド、求められるITエンジニア等について理解を深め、自己のキャリアプラン再考の機会の提供を目的として全6回実施した。

「IT基盤力養成講座」「講演セミナー」ともに実施後の受講者アンケートからは高い成果が確認された。「IT基盤力養成講座」では講座が目的とした、受講者の問題解決能力の強化・向上が見られた。また、「講演セミナー」では、受講者の多くがIT業界やITエンジニアについての理解を深めるとともに自身のキャリアプランについて考える機会を提供し、仕事への理解・意欲を高めることができた。以上の教育プログラムの実施とその効果の確認によって「IT基盤力」の養成を通じた若手ITエンジニアのキャリアアップ支援という本事業の目的を達成することができた。

②事業により得られた成果

「IT基盤力養成講座」は「IT基盤力」の中でも特に重要度が高いと思われる問題解決能力に焦点を絞り、論理的思考や発想力に支えられた汎用的な問題発見・解決能力の強化を狙いとして実施した。講座は社会人を対象に実施し、実施後のアンケート結果からは講座のテーマ、実施内容ともに評価する意見が多く、狙いとした問題解決能力の向上を確認することができた。

「講演セミナー」は、いずれも高い技術力に定評があり、技術をベースとした新しい形のビジネスを展開している6社のIT企業の経営トップを講師とし、専門学校等の学生・若手ITエンジニア延べ517名が受講した。

「講演セミナー」実施後の受講者アンケートでは、多くの受講者がIT業界やITエンジニアについての正しい認識を持ち、自身の将来や向上を考える上で有益と感じていることが確認できた。これらの点が本事業による成果として挙げることができる。

③今後の活用

本事業の推進により形成されたIT企業や若年ITエンジニアとのコネクションを発展させ、さらに若手ITエンジニアやIT業界への就職を志願する若年者に対して本教育プログラムを発展させながら展開・実施していく予定である。

また、「IT基盤力」の内容面の検討は今後も組織的な取組みを継続し、一層の充実化を図りながら、本教育プログラムや専門課程の内容に反映させていくこととする。

④次年度以降における課題・展開

今回の事業では、「IT基盤力養成講座」において、ITエンジニアの基盤能力でも特に重要と考えられる問題解決能力の強化を実施した。今後は「IT基盤力養成講座」の内容の拡充を図りながら継続的な実施を検討する計画である。しかし、ITエンジニアの基盤能力に相当する能力は広範であり、問題解決能力の強化のみで「IT基盤力」全てが強化できるものではない。今後は、「IT基盤力」を構成するその他の能力強化も含めた講座の企画・設計・実施が検討課題である。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

本事業では、地域IT企業の人材ニーズや育成をめぐる課題などの現状の把握を目的として調査を実施した。

・対象:COPLI(地域ICT推進協議会)会員企業 93社

・調査方法:アンケート(回収26社/回収率28%)

・主な調査項目

- ・来年以降の採用予定人数
- ・新卒者採用時に重視するIT知識・スキル
- ・新卒者採用時に重視する基本的な能力(ヒューマンスキル)
- ・IT技術職に重要な資質
- ・自社におけるIT技術職の過不足感
- ・IT技術職への研修時間

・調査結果

多くの企業ではIT技術職の不足を感じており、指摘されている若者のIT離れを裏付けるものとなった。また、企業が新卒者に求めている知識、能力や資格は多岐に亘るが、専門的知識・スキルよりもヒューマンスキルを重視する意見が少なくなかった。

②カリキュラムの開発

本事業では、若年層のITエンジニアのキャリアアップ支援を目的として、ITエンジニアが継続的に自らを動機付けし、成長させ得るような基盤づくりを助ける教育プログラムの開発と実施を行った。教育プログラムの開発では、ITエンジニアとして長く活躍する上で不可欠であり、全てのITエンジニアの共通基盤となる普遍的な力としての「IT基盤力」の養成を重視し、開発の狙いとした。

その結果、「IT基盤力養成講座」と「講演セミナー」から構成される教育プログラムを開発した。「IT基盤力養成講座」は講義・演習を取り入れ2日間集中的に実施する形態とし、一方で「講演セミナー」はより多くの事例に触れ、受講者がIT業界・ITエンジニア職の理解を深められるように6人の経営者による各90分の講演とし、それぞれ研修目的に合わせた形式とした。

内容については、「IT基盤力養成講座」は、論理的思考や発想力に支えられた汎用的な問題発見・解決能力の強化・向上を狙いとするトレーニングとした。

「講演セミナー」では、いずれも高い技術力に定評があり、技術をベースとした新しい形のビジネス展開を進めている6社のIT企業経営トップからIT業界への就職を目指す学生や若手ITエンジニアに対して、IT業界やITエンジニアという仕事の魅力や可能性を直接語りかけてもらい、意欲の喚起を図る主旨とした。

③実証講座

本事業では、ITエンジニアが長く活躍していく上での共通基盤となる普遍的な力を「IT基盤力」として捉え、教育プログラムを「IT基盤力」の養成・強化を目的とした「IT基盤力養成講座」と「講演セミナー」から構成した。

なお、受講者募集にあたっては、地域の若手ITエンジニアに広く教育プログラムを告知する狙いからCOPLI※(地域ICT推進協議会)と連携を図った。

※COPLI(地域ICT推進協議会):民・学・産と行政によるコンソーシアムとして、情報技術や地域連携に関する、会員による情報受発信や技術レベルの向上を目的とした活動を行っている。

「IT基盤力養成講座」は、ITエンジニアの職種や専門分野の違いに係わらず共通的に求められる基盤力強化を目的としたトレーニングである。但し、「IT基盤力」は非常に広範な能力を含むため、本事業では、その中でも特に重要性が高い問題解決能力の強化・向上を目的に講座を設計した。

- ・テーマ:問題解決能力
- ・期間:平成20年2月1日(金)・2日(土)
- ・受講者:社会人18名
- ・場所:神戸電子専門学校
- ・受講者の反応:大半の受講者が、実施テーマや内容を高く評価した。特に、分かっているつもりだったが、実はできていないことに気付く機会になったという声が複数見られた。

「講演セミナー」では、6名のIT企業の経営トップによる講演を通じて、IT業界の最新動向や技術トレンド、求められるITエンジニアに関する理解を深めるとともにIT業界での就職、ITエンジニアとしての成長に対する意欲の喚起を目的として実施した。

- ・テーマ:IT業界・技術の最新動向や仕事の魅力や可能性
- ・期間

第1回・第2回:平成19年11月27日(火)

第3回・第4回:平成19年12月14日(金)

第5回・第6回:平成20年1月29日(火)

- ・受講者

第1回・第2回:社会人・専門学校学生 190名

第3回・第4回:社会人・専門学校学生 182名

第5回・第6回:社会人・専門学校学生 145名

- ・場所:神戸電子専門学校

・受講者の反応:アンケート結果によると、大部分の受講者が、講演セミナーが自身の将来や向上を考える上で有益だったとしている。また、講演を通じてITエンジニアの仕事やIT企業の理解が深まったとの意見が多く出された。

④その他

本事業の特徴としては「IT基盤力の養成・強化」と、若手ITエンジニアの「成長意欲の喚起」という目的のために講義・演習を含む2日間の研修形式の「IT基盤力養成講座」と6名のIT企業経営トップによる講演形式の「講演セミナー」という2つの異なる形式を組み合わせる点と、それぞれ目的に適した形式とすることで、より効果的な実施が可能となった。